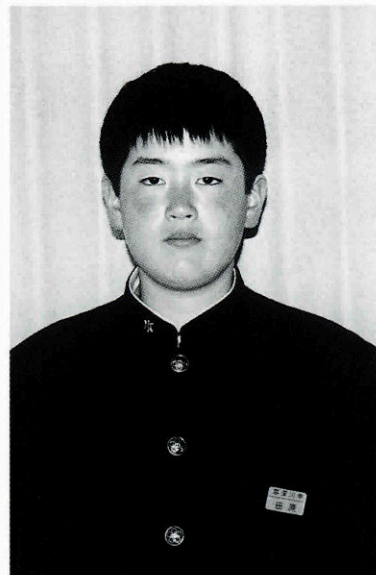


萩焼きの体験学習を終えて



田原 淳士 さん

たはらあつし／昭和61年1月2日生／深川
中学校3年／三ノ瀬区

— 連続写真 —

「よろしくお願いします。」

期待に胸をはずませ、僕達6人は、新庄窯を訪問した。

昨年の末、進路学習の一環として、僕達の学年は職場体験学習を行った。僕の家も萩焼きの窯元であるが、もっと父の仕事を理解したいと思い、今回は新庄窯を訪問させていただいた。

仕事場を見学した後、実際に本物の粘土で萩焼きを作らせてもらった。土は、なかなか言うことを聞いてくれず、形作りだけでも多くの時間と労力を費やした。

改めて、萩焼きづくりがいかに難しいかを理解した。同時にろくろを蹴って次々と作品を仕上げる父の偉大さを再認識させ



られた。

今回の職場体験学習をふまえ、今後も「自分探しの旅」をしていきたいと思う。

人生を優雅に

— 長門ドレミファ会 —



宗金 和夫 さん

むねかねかずお／殿台区

／連絡先 ☎ 0454

平成6年、何よりもカラオケ大好きな全く音痴な人達が集まり始めた会で、その名もドレミファ会と名称した。今まで字幕を見て唄っていたので、テープだと詩を憶えるのに苦労したが、今は上達しお祭りやイベントにも出場し、入賞する人も現れ始め、日頃のレッスンの成果は嬉しい。ベテランの人も常に驕る事もなく、他人の唄を尊重。自己中心的にならず絶えず親睦を旨とし、心温まる人間関係を深めながら唄うことに専念し、人生を優雅に過ごすことを目的に、会の繁栄を皆で計ってきた。年令も20才近く差があり私など娘のように接しており、家族的な雰囲気の中、毎週が楽しい月

曜日で、野外活動として花見旅行や公民館まつりのあとの宴会は、充実感に満ちて何とも何とも言えない。公民館に感謝。カラオケは本当に奥が深いと思う。たかがカラオケされどカラオケと、言える男性が少ない。是非入会を待っている。



▲花見旅行の様子